## 【取組1】市民の納得と共感

推進項目①	市民との情報受発信と対話の推進	• • •	1
推進項目②	行政手続きの利便性向上	• • •	26
推進項目③	市民との共働		36

## 取組1 市民の納得と共感

## [推進項目① 市民との情報受発信と対話の促進]

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	4年間の実施状況		
1	1	市長室	市政だよりに掲載された情報を、多様なメディアで 効果的に発信する手法について、市民アンケートを行 い、その結果をもとに検討を行います。	【取組内容】 〈平成25~28年度〉 〈平成25~28年度〉 〈平成25年度の市政アンケートにおいて、市政だよりについて紙以外でどのようか、市民のニーズを把握しました。 平成26年度以降は毎年、アンケート上でニーズの把握を行っています。 【取組の成果】 〈ニーズの高かったスマートフォンへの対応として、平成27年度にスマートフォンだよりWEB版」を、平成28年度にスマートフォン用アプリ「マチイロ」に掲載をそれ	でも見やすい	ように「市政
				実施スケジュール	28年度予定	28年度実績
				アンケートの実施	実施	実施
				市政だより多メディア化の検討(スマートフォンアプリの利用)	実施	実施

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	4年間の3	実施状況			
1		市長室	職員の広聴マインド向上 職員の広聴マインド向上のために、職員を対象とした研修を実施します。 また、市民から寄せられた声の内容や統計を「市民の声だより」として、年4回程度、庁内LAN掲示板に掲載します。	【取組内容】 〈平成25~28年度〉 ○市民の声を真摯に受け止め、市民と行政が良好な ンド研修」を実施しました。 ○平成24年度は年4回だった「市民の声だより」の発行回発行に増やし、市民の声の中から業務の参考となる 容など情報の共有に努めました。 〈平成27~28年度〉 ○平成27年10月からは市民から寄せられた「お礼の別ンドを醸成する職場の風土づくりに努めました。 【取組の成果】 ○「市民からの苦情や要望に対して、改善を続けてい下しましたが、「市民の声だより」の発行回数を増やし報発信を増やし、職員の広聴マインドの醸成に努めま	行回数を平成5ものの紹介であると思う職員でいても、	25年度に年6 や、局別の統 、 庁内LAN排 の割合」は現:	回、平成27年計、直近の件 計、直近の件 場示板に掲載し 状値35.5%か	度には年12 数が多い内 、広聴マイ ら30%に低
				実施スケジュール			28年度予定	28年度実績
				広聴マインド研修			実施	実施
				市民の声だよりの作成			実施	実施
				指標項目	現状値 (23nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	28年度実績値
				市民からの苦情や要望に対して、改善を続けていると思う職員の割合【職員意識調査】	35.5%	40%	45%	30%

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	4年間の	実施状況		
1		市長室	広報効果の調査・分析・活用  広報効果の調査、分析を行うとともに、ノウハウの 蓄積を図り、さらなる効率的・効果的な広報を行います。	【取組内容】 〈平成25~28年度〉 ○基本の広報媒体である市政だよりとホームページにした。また、テレビ・新聞・インターネットによる動画配の合わせた広報や、報道機関への情報提供等によりことに努めました。 ○職員を対象に市の広報や報道対応の充実に向けがを実施しました。 ○市民の市政に関する広報満足度調査を実施しまして、 【取組の成果】 ○福岡市の情報発信における満足度調査において、足している」「やや満足している」と回答した人の割合は2.0%へと13.6%増加しました。 今後も市政情報や市の魅力を分かりやすく伝えると	信やフェイスブック等の 、市政情報や市の魅力 と研修やユニバーサル・ た。 「福岡市の情報発信に が平成24年度は28.4%が	を様な広報媒体を適宜わかりやっ デザインに配慮し 対する総合的な流ったものが、平月	を効果的に組 すく発信する た広報研修 ち足度」に「満 或28年度には
				実施スケジュール		28年度予定	28年度実績
				広報効果の調査・分析		実施	実施
				指標項目	現状値 中間目標 (24nd) (26nd)	値 最終目標値 (28nd)	28年度実績値
				市の情報発信に対する満足度	28.4% 40%	55%	42.0%

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	4年間の実施状況
1		総務企画局	るため、市が保有する統計情報等を利用できるように公開する「オープンデータ」について、公開方法や個人情報保護等の課題整理を行うとともに、活用推進の方向性を検討し、活用事例の創出に取り組みます。  〇活用アイデアのコンテスト開催  〇活用の可能性に関するシンポジウム開催	【取組内容】 ○オープンデータの活用推進のため、下記のとおり取り組みを行いました。 〈平成25年度〉 - 平成25年度〉 - 平成25年4月1日に干葉市・奈良市・武雄市と共同でピュレニ。 ・オープンデータにかかる調査・検討を提乗務として、個人情報保護やデータ形式・公開方法などの諸課題を整理し、本市としての活用推進の方向性を検討しました。 ・Webマップ(地図を基盤とした地域情報システム)を活用し地域情報を市民に提供しました。 ・『ピッグデータ&オープンデータ・イニシアティブ九州(旧ピッグデータ・オープンデータ研究会in九州)」(BODIFを立ち上げました。 ・「ピッグデータ&オープンデータ・イニシアティブ九州(旧ピッグデータ・オープンデータ研究会in九州)」(BODIFを立ち上げました。 ・本市のオープンデータを企業等が利用するための最適なデータ提供の在り方を検討しました。 ・Webマップ(地図を基盤とした地域情報システム)を活用し地域情報を市民に提供しました。 ・Webマップ(地図を基盤とした地域情報システム)を活用し地域情報を市民に提供しました。 ・BODIKで講演会やイベント等を開催しました。 ・「オープンガパメント推進協議会(旧ピッグデータ・オープンデータ活用推進協議会)」において、平成26年度アプリコンテストの最優秀作品をアプリ化し、「感染症流行警告アブリ ワーンニング」としてリリースました。 ・本市のオープンデータサイトの政修を行い、北九州市との共同利用、本市や助きするパレ図を基盤とした地域情報システム)との機能連携を開始しました。また、BODIKでオープンデータサイト(BODIK ODCS)に久留米市が利用参加しました。 ・・BODIKでワークショップや研究会を開催しました。 ・BODIKでアークショップや研究会を開催しました。 ・BODIKで連携して他自治体へオープンデータサイトの共同利用参加を働きかけ、BODIKのオープンデータサイトののKODCS)に字部市、佐賀県が利用参加しました。 「取組の成果】 ○取組の成果】
				アプリコンテスト・シンポジウムの開催
				活用事例の創出 検討・実施 検討・実施

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	4年間の実施状況		
1			市政運営会議の積極的な情報提供 市では市政運営の基本方針及び重要施策に関する 事項を審議し、方針決定を行う場として市長・副市長 等をメンバーとした市政運営会議を設置しています。 この市政運営会議による議事の内容をこれまで以 上に分かりやすく、市公式ホームページに公表します。	【取組の成果】 〇市政運営会議の積極的かつ分かりやすい情報提供を推進しました。		
				実施スケジュール	28年度予定	28年度実績
				ホームページへの掲載	実施	実施

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	4年間の9	実施状況			
1			附属機関等の会議の公開  附属機関等の会議の開催日時、場所、議題等の情報を集約し、ホームページに掲載します。また、会議の議事録、配布資料等を市民が容易に入手できるよう、ホームページへの掲載の促進を図ります。	【取組内容】 〈平成25~28年度〉 ○附属機関等の会議の開催日時、場所、議題等の情報について、会議開催の2週間前までに情報公開室へ連絡することとし、適時市ホームページに掲載しました。 ○会議の議事録等を市ホームページに掲載していない附属機関等所管課に対して、掲載を促し、公開状況を改善しました。 【取組の成果】 ○平成24年度には60%であった「会議の議事録等をホームページに掲載している附属機関等の割合(※公民館運営懇話会は除く)」が、平成28年度には68.3%に上昇しました。				
				実施スケジュール			28年度予定	28年度実績
				会議開催情報のホームページへの掲載			実施	実施
				会議の議事録等のホームページへの掲載			実施	実施
				指標項目	現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	28年度実績値
				会議の議事録等をホームページに掲載している附属 機関等の割合 ※公民館運営懇話会は除く	60%	70%	80%	68%

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	4年間の実施状況		
1	1	総務企画局		ヘ平成20~20年長>  ヘ「短期的に検討。実施すべき車頂」のうた 特に公立章の選正な作成。保左及1	『文書管理シ 職員に周知を 務研修(係長 等を掲示し、 ステム改修を行 国の動向等を いては、年間に 里システム掲	ステムの活 行い、改善 、総括主任、 情報提供及 行い機能改 を踏まえ、検 約1000名の
				4人首6社門及外機皿・元臣し	大心	大心

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	4年間の	実施状況		
1		財政局	市民目線の情報発信の推進 現在、財政局においては、福岡市ホームページ、市政だより、パンフレットなど様々な情報媒体を活用して情報発信していますが、受信者にとって、より使いやすく役に立つものとするため、次の取組を行います。・財政局内に職員で構成する委員会を設置し、福岡市ホームページなどに掲載している財政局の情報をより分かりやすくして、市民目線の情報発信を行います。・市民、事業者などのニーズにあった情報を発信するために、今までの広報媒体に加え、SNS(ソーシャルネットワークサービス)等の活用を検討します。	【取組内容】 〈平成25~28年度〉 ○市の財政状況に関する内容をホームページ上で随のあらまし」、行財政改革プランの概要説明のマンガが冊子を作成し、区役所などで配布しました。 ○「ふくおか応援寄付」について、デザインや色使いないものとなるよう、パンフレットやホームページ、事業多く平成25年度〉 ○局内各課が現在行っている広報・計画中の広報のいて検討を行いました。 〈平成26~28年度〉 ○市ホームページのリニューアルに合わせ、税務関係ケート等により洗い出し、体系を整理し、統一感を出す【取組の成果】 ○「ふくおか応援寄付」については、ホームページの開倍超に増加し、パンフレットの配布部数も大幅に増加し、の財政局ホームページ利用アクセス件数が平成28年達成しました。	など、予算や決算の概要ななど、予算や決算の概要ななどにも配慮し、利用者にと 実績報告書の内容の充実に 広報ツールについて現状を 係のホームページの課題を ために更新等を行いました 引覧数が平成25年度当初と しました。	どを分かりやでつて分かりやでこ取り組みました。 一把握し、SNS全税務関係課	すく説明する すく使いやす た。 の活用につ
			・財政局から発信している情報についての利	実施スケジュール		28年度予定	28年度実績
			用者満足度(使いやすさ)の評価方法については、使いやすさ(見つけやすさ)を反映する	局内委員会の設置		設置•運営	設置•運営
			とともに客観的な目安で把握もしやすいことか	評価方法の構築		構築・実施	構築·実施
			らホームページのアクセス数を評価方法とし	より分かりやすい情報の発信		検討・実施	検討·実施
				指標項目	現状値 中間目標値 (24nd) (26nd)	最終目標値 (28nd)	28年度実績値
				財政局ホームページ利用アクセス件数	- 1,700,000件	1,780,000件	1,975,063件

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	4年間の	実施状況			
1	1	市民局	市民局業務改善プロジェクトチームの設置 「必要な情報」を「タイムリー」に「分かりやすく」伝えることを目指し、局のホームページや市政だより等を活用した情報発信の充実に取り組みます。また、来庁される市民の方をスムーズに担当部署へ案内できるように、局内職員間の情報共有の徹底や、案内表示の工夫などを行います。これらの実現に向け、局内で業務改善プロジェクトチームを設置し、情報発信や事務手続きの改善等について協議・検討を行うとともに、局独自の研修会等を通じて、職員全体の意識の共有やスキルの向上を図ります。	・現場活動等参加促進プロジェクト ・職員活き活きプロジェクト ・和ぞれの部会ごとに取組項目を検討し、取り組みました。 ・平成25~28年度> 〇広報・事務改善プロジェクトで取り組みました。 ・来庁者のスムーズな担当部署への案内、情報発信の充実、職員全体の意識・スキル向上等の業務改善に向けた取組みを11件実施しました。 その取組みのうち、案内表示の工夫として、来庁者への案内がわかりやすいものとなるよう課の案内表示を統一し、大きく掲示するとともに、フロア案内図を作成して掲示し、組織編成に変更があるごとに更新を行うことを 平成26年度から継続して実施しています。(26~28年度) ・職員の広報能力の向上のため広告代理店の講師を招き、効果的な広報に関する講習会を実施しました。(27~28年度) 【取組の成果】 〇毎年、プロジェクトチームを設置し、「業務改善に向けた取組の累積件数」は11件と目標に達しました。				果の案内表 ごとに更新を 実施しまし
				実施スケジュール			28年度予定	28年度実績
				プロジェクトチームによる検討と取組の推進			検討·実施	実施
				情報発信の充実			検討·実施	実施
				来庁者案内の充実			検討·実施	実施
				指標項目	現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	28年度実績値
				業務改善に向けた取組の累積件数	_	5件以上	10件以上	11件

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	4年間の	実施状況				
1		こども未来局	子育で情報の受発信と共有 情報の受信・発信については、ツールの整理を行った上で、アクションプランを策定し、運用方法の改善を行います。 また、情報共有については、区役所も含めた情報共有手段の検討をした上で共有ツールの構築を行います。	は、子育で支援に関するスマートフォンアプリの活用についても、子育で中の職員へヒアリングを実施するなどの検討をおこないました。 <平成27年度> 〇子育で情報の掲載を「ふくおか子ども情報」ホームページへ一元化するなど、情報発信ツールの整理にも取り組みました。  【取組の成果】 〇平成27年4月から「産前メール」の配信を開始しました。 〇今後も、より分かりやすく、より効果的な情報発信が行えるよう、スマートフォンや多言語対応など様々に手法を検討し、子育で情報の受発信の充実に取り組みます。					
			※指標に用いる数値についてはHPへの	実施スケジュール		2	28年度予定	28年度実績	
			アクセス数としています。	情報発信			本格実施	一部実施	
				情報受信(ニーズの把握)			本格実施	一部実施	
				情報共有			本格実施	一部実施	
				指標項目		引目標值 26nd)	最終目標値 (28nd)	28年度実績値	
					情報ツールの反応指数(フェイスブック、ホームページなどの反応数)	77,306 81	31,000	85,000	48,100

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	4年間の	実施状況			
			超高齢社会を迎えるにあたり、保健・医療・福祉などの各種制度がますます複雑化・多様化しています。このため、市民が自らよりよい各種サービスを選択できるように、一元的に相談窓口が分かる広報物を発刊するなど必要な情報を必要なときに分かりやすく得られる仕組みを充実させる必要があります。また、市民の話を聴く姿勢を持つことの重要性を再	【取組内容】 〈平成25~28年度〉 〇平成25年度にプロジェクトチームを立ち上げて内容 「知って得する シニアライフ応援通信」(保存版)を発 〇平成27、28年度は財政的な点から既存誌を有効活 保健福祉に関する情報を掲載するなど情報発信に努 がすぐわかるよう局のフロアマップを作成しました。 【取組の成果】 〇平成24年度に25.1%であった「市民が保健・福祉・服が、平成27年度には55.1%に上昇しました。	刊しました。 用した方が刻 めました。まか	車的なため、 こ、来庁者の割	各所属から市 多い業務を所	下政だよりに 管する部署 ている割合」 28年度実績 実施 実施
1	1	保健福祉局	民対応のマニュアルを作成します。	実施スケジュール			28年度予定	28年度実績
			※指標については、数値の表し方に関する考え	保健福祉局だよりの発刊(広報物の統一等)			実施	実施
			方を変更したため、現状値及び目標値を再設定	市民との対話重視(市民対応の局マニュアルの作成)			実施	実施
				指標項目	現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	28年度実績値
			市民が保健・福祉・医療に関する情報提供や案内に満足している 割合	25.1%	35.0%	40.0%	55.1%(H28年度 はアンケート調 査未実施の為 H27年度の数値)	

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	4年間の	実施状況			
1		環境局	市民への効果的な情報発信や市民ニーズの共有等に関する取組  広報PRに関する局内の横断的な情報交換の場 (広報関係連絡会議)を活用し、市民への効果的な情報発信や市民ニーズの把握などについて、情報共有・意見交換を行います。 〈内容〉 ○局内の広報関係のスケジュールを共有し、連携可能な広報PRの調整や、広報先・ツールのより効果的な活用について意見交換を行います。 ○各施策について意見交換を行います。 ○各施策について市民アンケート等の市民ニーズを確認できる取組みを実施した際には、当該結果を共有し、意見交換を行います。 ○出前講座や各種プレゼン資料を共有し、統一感をもったわかりやすい資料作成のための意見交換や研修を行います。 ○広報PRのスキルアップのための研修会を年2回程度実施します。	〈平成25~28年度〉 ○広報に関する情報共有と効果的な情報発信 広報に関する情報交換の場として、「広報関係連絡 おおれたが、「広報関係連絡」	は広報PRの調図りました。 アンケート結果 野さました。 サる課題もた。 H27nd:2回( 定期的にフェ	整、効果的な を共有し、意 こついて 加)、H イスブックの 傾値3回/年を	広報に関する 見交換を行い 研修会を開催 128nd:3回(86 <b>Q稿を行い</b> 、 を は したほか	意見交換等 ました。 しました。研 0名参加)] 引内の様々な
				実施スケジュール			28年度予定	28年度実績
				スケジュールの共有と効果的な広報PRについての意	見交換		実施	実施
				市民ニーズの把握に関する情報共有と意見交換			実施	実施
				広報PRのスキルアップのための研修会			実施	実施
				指標項目	現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	28年度実績値
				広報PRスキルアップ研修の実施(回/年)	_	2	3	3

取組 番号	推進項目	局区名	取組内容	4年間の9	<b>実施状況</b>		
1			情報発信の充実 経済観光文化局所管のホームページに、産業、観光、文化、文化財情報などの最新情報をアップし、市民や福岡市への来訪者等へ積極的に情報提供していく。	【取組内容】 〈平成25~28年度〉 〇市民生活の利便性や福岡市の魅力向上を図るため 多様な媒体を通して福岡市の情報を通年で発信しまし 【取組の成果】 〇行財政改革プランの実施前と比較して、アクセス件 上まわりました。	た。		
				実施スケジュール		28年度予定	28年度実績
				ホームページによる情報発信		実施	実施
				指標項目	現状値 中間目標値 (24nd) (26nd)	最終目標値 (28nd)	28年度実績値
				経済観光文化局所管のホームページへのアクセス件数(回)	310,000 319,000	328,000	336,865

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	4年間の	実施状況			
1	1		の実施 地域住民や企業、関係者へ調査を実施し、ニーズ	【取組内容】 〈平成25~28年度〉 〇毎年度2回(7月及び1月)、福岡市内約30の企業、 り調査を実施しました。 【取組の成果】 〇調査結果をホームページに掲載するとともに、各施 した。				
				実施スケジュール			28年度予定	28年度実績
				景気動向ヒアリング調査の実施			実施	2
				指標項目	現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	28年度実績値
				景気動向ヒアリング調査回数(回)	2	2	2	2

取組 番号	推進項目	局区名	取組内容	4年間の	実施状況			
1			市民への情報発信 本市の農林水産業や農林水産局の取組みをPRするため、局ホームページの充実を図るとともに、各種イベント等の発信など積極的に活用します。また、長浜鮮魚市場のPRや魚食普及推進のため、長浜鮮魚市場ホームページやフェイスブックを情報受発信ツールとして活用します。また、農林水産まつり、鮮魚市場市民感謝デーなど市民が参加できるイベントについても、引き続き実施してまいります。	【取組内容】 〈平成25~28年度〉 〇ホームページについて ・農林水産局ホームページは、平成27年度にホームペリニューアルを行いました。 ・長浜鮮魚市場ホームページやフェイスブックを活用しなどのイベント情報、魚のさばき方動画や健康効能を努めました。 ・平成27年度より「ふくおかさん家のうまかもん(福岡に品を提供・販売する「優先利用事業者」を紹介する専・平成28年度より「ふくおかさん家のお気に入り」(福昭品)を紹介する専門のホームページを開設しました。〇イベントについて ・農林水産まつりは、毎年11月に開催し、多くの来場・長浜鮮魚市場市民感謝デーは、毎月第2土曜日の会長浜鮮魚市場ホームページのアクセス件数は、平成25年度339,436件、平成28年度 365,333件と推移しており・長浜鮮魚市場ホームページ(平成24年6月開設)の53,683件、平成27年度 115,862件、平成28年度 69,95ました。〇イベントについて ・農林水産まつりの来場者数は、平成25年度25,000人と推移しております。 ・長浜鮮魚市場市民感謝デーの来場者数は、平成25年度25,000人と推移しており、毎	ス、毎月第2土頃 明第2土頃 明第2土頃 市内産の人 市内本が開発を支 市内本が開かい。 一ででは、120回開催し、 5年最クセ推移し、 5年最クセ推移した。 5年度118,000人 年度118,000人	雇日開催の計算を開発を開発を開発を開発を開発を開発を開発を開発した。回り、26年の1343,000年最上の1343,000年まおり、1443年124、1444年1日には	下民感謝するなどに 下民がするなどに たの加工を を使いた。 大の加工を 大の 大の工を 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の 大の	や料理発信に ・ 大田 は で で で で で で で で で で で で で で で で で で
				実施スケジュール			28年度予定	28年度実績
				局ホームページによる情報発信			実施	実施
				長浜鮮魚市場ホームページによる情報発信			実施	実施
				農林水産まつり等のイベントの実施	TO .11: /-		実施	実施
				指標項目	現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	28年度実績値
				局ホームページへのアクセス数(件)	312,000	327,000	343,000	365,333
				長浜鮮魚市場ホームページへのアクセス数(件)	60,000 (年度換算値)	63,000	66,000	69,992

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	4年間の	実施状況			
			広聴と対話の促進(まちなみのルールづくり制度 についての出前講座の実施) 建築協定等のまちなみのルールづくり制度について	【取組内容】 〈平成25~27年度〉 〇中高層のマンション建設に伴う紛争の発生が予想で 定締結に向けての働きかけを行ってきました。 〈平成25~28年度〉	される地域に	は、積極的に	出向き出前講	座を行い、協
1	1	住宅都市局	・建築紛争が予想される地区については、自治会・町内会等を通じて、住民への周知啓発のため、出前講座の利用を積極的に働きかけます。 (2)個別地区に対する出前講座利用の呼びかけ	〇また、建築協定を締結している地区については、地め、協定の運営や更新についての出前講座の利用を 【取組の成果】 〇実施回数・地区について平成25年度は28回15地3回12地区、平成28年度は4回4地区、4年間で合語 〇早期の取り組みにより、平成27年度までに紛争のが終了したため、平成28年度は実績値が減少してお度の周知、出前講座利用の呼びかけを行い、出前講めていただくとともに、新規で要望される地区に対してを図ってまいります。	:呼びかけ、出 B区、平成26: H76回50地 発生が予想さ ・りますが、引: 座において協	前講座を実施 年度は31回1 区実施しました れる地域への き続き市報や 定地区の運賃	をしました。    9地区、平成   5。(平均19度   0出前講座に。   ホームページ   営や更新につし	27年度は1 到12.5地区) よる働きかけ を使った制 いて理解を深
			ます。 ②建築協定締結地区について	実施スケジュール			28年度予定	28年度実績
			・協定の有効期間満了が近い地区や、協定運営がほ	講座内容の改良			実施	実施
			とんど行われていない地区の住民に協定の存在と重要性を認識してもらうため、出前講座の利用を呼びか	地区指定			実施	実施
			けます。	指標項目	現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	28年度実績値
			世	出前講座実施回数(回)	18	25	25	4
				地区数(地区)	15	18	20	4

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	4年間の	<b>実施状況</b>			
1	•	道路下水道局	工事情報提供の見直し 建設部発注の工事情報を市民に幅広〈PRし、工事への理解と協力を図ります。 ・工事箇所、工事の目的、工事期間、交通規制など	【取組内容】 〈平成25~28年度〉 ○市民から工事への理解と協力を得られるよう、過年ページなどで周知しました。 ○イベントPRや民間企業への工事情報提供も行いま 【取組の成果】 ○道路下水道局ホームページ工事情報へのアクセス・平成25年度 872件・平成26年度 2,222件・平成27年度 2,258件・平成28年度 2,534件	:L <i>t</i> =。		報を毎年更新	し、ホーム
				実施スケジュール			28年度予定	28年度実績
				局ホームページでの情報提供			実施	実施
				指標項目	現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	28年度実績値
				道路下水道局ホームページエ事情報へのアクセス件数(件)	_	2000件	4,000	2,534

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	4年間の実施状況				
			市民との情報受発信による、博多港の理解度UP	【取組内容】 〇港湾空港局の取り組みや博多港が市民生活に果た対する理解を深めていただくために、下記の取り組み			情報を発信し	、博多港に
1	1		市民等を対象とした博多港見学会等の実施や港湾局ホームページ等により、港湾局の取り組みや博多港が市民生活に果たしている役割等について、情報を発信し、市民等の博多港に対する理解度を高めます。	○博多港見学会について ・博多港をパスや船で見学し、港が果たす役割や市港見学会を実施しました。(平成25年度~平成28年度)を加者アンケートを実施し、より活用しやすい博多25年度~平成28年度)・小学校の社会科見学での利用促進を目的に、小学こでいただいたご意見をもとに、また、関係部署を作成しました。(平成27年度) ○博多港ホームページについて ・博多港ホームページを運営し、博多港の取り組みを(平成25年度~平成28年度) ・「お問い合わせ」ページを更新し、項目ごとに担当をせいただけるようにしました。(平成25年度~平成25年度)・「お問い合わせ」ページを更新し、「平成25年度~平成26年度) ○フェイスブックについて ・フェイスブックについて ・フェイスブックにから、「平成26日間では、より効果的な広報活動に努めました。(平成26日間では、より効果的な広報活動に努めました。)・福岡市役所15階のPRコーナーを更新しました。(平成26日間では、1989年度には98%に達しました。)・「本によりでは、1989年度には98%に達しました。)・「中では、1989年度には98%に達しました。」 ・「中では、1989年度には98%に達しました。」 ・「中では、1989年度には98%に達しました。」 ・「中では、1989年度には98%に達しました。) ・「中では、1989年度には98%に達しました。) ・「中では、1989年度には98%に達しました。) ・「中では、1989年度には98%に達しました。) ・「中では、1989年度には98%に達しました。) ・「中では、1989年度には98%に達しました。) ・「中では、1989年度)・「中では、1989年度度)・「中では、1989年度)・「中では、1989年度)・「中では、1989年度)・「中では、1989年度)・「中では、1	王度) 一達見学会を 一達見学教徒。 一章を 一章を 一章を 一章を 一章を 一章を 一章を 一章を	指して、改善対象とした情報等について 報等について 就は上に楽しく に関する情報 歌等度)	に取り組みまき、 港見学会をデノ の情報を発信 スムーズにように 要を発信しまし 、情報共有をデ	した。(平成 実施し、 レコースを 言しました。 う問い合わ しました。(平 た。(平成25 行うととも
				実施スケジュール			28年度予定	28年度実績
				博多港見学会・視察の実施			実施	実施
				博多港ホームページの充実	TO 1 12 14	1	実施	実施
				指標項目	現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	28年度実績値
				視察参加者を対象としたアンケートで、視察内容について理解できたと答えた人の割合	— —	60%	80%	98%
				指標項目	現状値 (23nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	28年度実績値
				博多港ホームページへのアクセス数(件)	80万	90万	100万	1,297万

取組 番号	推進項目	局区名	取組内容	4年間の	実施状況			
1		中央区	情報発信力向上委員会(区民の視点に立った情報発信の推進)  区民の視点に立った情報発信の推進を図るため、「情報発信力向上委員会」を立ち上げ、SNS(ソーシャルネットワークサービス)など新たな広報媒体を活用した情報発信を強化するとともに、誰もが分かりやすく、利用しやすいホームページを構築し、区民に伝わる広報の充実を図ります。	【取組内容】 区民の視点に立った情報発信の推進を図るため、以 OSNSの活用(平成25~28年度) ・SNS(ソーシャルネットワークサービス)のフェイスブの魅力を積極的に発信しました。 ・フェイスブックの活用に向け、職員向けにマニュアルの研修(平成27~28年度)を実施しました。 Oホームページの改善(平成27~28年度) ・分かりやすく利用しやすいホームページを目指し、職のデザインや内容を改善しました。 【取組の成果】 O新規「いいね」の数については、最終目標値が達成努めます。ホームページのアクセス数については、最	ックを積極的!を作成(平成な を作成(平成な は員アンケート	に活用して、F 28年度) すると と改善点の検 したが、今後	中央区の行政 さともに、全体 記討を行い、ホ	研修や個別
				実施スケジュール			28年度予定	28年度実績
				SNSを活用した区民への情報発信の強化			実施	実施
				区ホームページの充実			実施	実施
				指標項目	現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	28年度実績値
				区フェイスブック新規「いいね」の数(累計)(人)	829	2,000	3,500	2,958
				指標項目	現状値 (23nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	28年度実績値
				区ホームページのアクセス数(月平均)(件)	13,443	14,000	15,000	15,289

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	4年間の	実施状況			
1		城南区	市民意見の区政への反映  区役所や市民センターなどに設置された区政への 提案箱や来所者及び事業参加者へのアンケートなど で出された市民意見を区政に反映させます。また、区 長が地域に出向き、地域課題等について住民と意見 交換をします。	〈平成25~28年度〉 〇「区役所への提案」を通じて、来所者から提案された回答が必要な案件は全て回答を行いました。 提案された案件で改善ができるものは、すみやかに着手し、その改善事例を年度末に区役所1階指及び区ホームページで公表しました。 〈平成26・28年度〉 〇2年に1度行っている来所者アンケートについては、平成26年度は平成27年1月16日・19日、成28年度は平成29年3月7日・14日に実施しました。 〈平成27・28年度〉 〇住民と区長が意見交換を行う事業「こんにちは区長です」は、2年間で区内全11校区で実施しまし【取組の成果】 〇区役所周辺のバスの時刻表の設置や窓口の案内表示の充実等、提案された案件を改善することり、来所者の利便性の向上につながりました。 〇来所者アンケートによる窓口サービスの満足度は、以下のとおりでした(5段階による評価)。 平成26年度:4.17 平成28年度:4.03 〇区長が実際に地域活動に参加することで、地域活動の実情を把握し、地域や各種団体の意見や題等を聞くことができました。				1階掲示板 9日、及び平 にしました。 一ることによ 。
				実施スケジュール			28年度予定	28年度実績
				区役所への提案			実施	実施
				来所者アンケート			実施	実施
				「こんにちは区長です」			実施	実施
				指標項目	現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	28年度実績値
				市民からの提案に対する回答率(回答件数/提案件数)	100%	100%	100%	100%
				指標項目	現状値 (23・24nd)	中間目標値 (25・26nd)	最終目標値 (27•28nd)	28年度実績値
				「こんにちは区長です」の実施回数(校区)	11(全校区)	11(全校区)	11(全校区)	11(全校区) ※27年度合算

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	4年間の3	実施状況		
			市政だより区版や区ホームページに加え、フェイスブック、広報テレビ番組等、多様な広報媒体により、	【取組内容】 〈平成25~28年度〉 〇市政だより区版(毎月2回発行。1月のみ1回)やフ: 終了)などのさまざまな広報媒体を活用し、区政情報・ 【取組の成果】 〇行政情報を分かりやすく発信することで、市民の行ることで、区民同士の共感を呼び、地域の輪を広げる	や地域が取り組んでいる情 政への理解と信頼を高め、	報の発信を行	iいました。
1	1	城南区	とともに、市民向けリーフレットを作成・配布します。	実施スケジュール		28年度予定	28年度実績
				フェイスブック等での情報発信		実施	実施
				区政取組方針説明会、市民向けリーフレットの作成・配	己布	実施	実施
				指標項目	現状値 中間目標値 (24nd) (26nd)	最終目標値 (28nd)	28年度実績値
				市政だより区版、広報テレビ番組で紹介する延べ校区数(校区)	22 22 (11校区×2) (11校区×2)	22 (11校区×2)	15

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	4年間の	実施状況			
1	1	早良区	母により、 (毎年1回、同じ時期、同じ質問で) ○ 来庁された方を対象に、チラシやパンフレット、庁 内案内サイン等の感想を尋ねるヒヤリング形式のア ンケートを実施します。(パンフレット作成時)	日のインターペット云貝券集については、20年度のアン接していただいての率直なご意見をお聞きすることをた。 【取組の成果】 〇平成27年度実施の満足度アンケートの結果では、「 えました。 ・実体日、平成27年9日15日(水)・28日(日)	トを行い、それ アルの作成や らりましたが、 、変更しました ケート結果を 重視するとの	らの結果も路サイン表示の調査の翌年度。 踏まえ、実際 考えから、実施	を表え、早良区 改善などを行けは結果等を踏 の窓口状況や をしないことと	市民サービいました。 いました。 替まえた改善 P窓口対応にいたしまし
				実施スケジュール			28年度予定	28年度実績
				関係課によるプロジェクトチームにより、アンケートのア	内容を検討		実施	実施
				インターネット会員を募集			実施	未実施
				アンケートの実施			実施	実施
				指標項目	現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	28年度実績値
				アンケートによる満足度		60%	80%	84% (27年度)

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	4年間の	実施状況			
1	1	水道局	・お客さまとの相互理解の促進  ・お客さまに水道事業に対する理解を深めてもらうため、市民を対象にした講座「水道カルチャークラブ」や水道局職員が小学校での出前講座を行う「こども水道教室(仮称)」などお客さまとの対話を通して、様々な情報を分かりやすく、きめ細やかに提供します。一方でお客さまの水道事業に対するニーズをサービス向上や事業運営に反映するために、お客さまのご意見などを職員全体で共有するとともに、4年に1度の「水道水に関する意識調査」の実施サイクルを2年に1度とし、お客さまニーズをより的確に把握します。 ・また、お客さまに水道事業の財政状況についても、より理解を深めてもらうように、現在公表している今後の事業計画や財政収支計画、水道事業ガイドラインに基づく業務指標等に加え、財政状況の経年比較等を公表し、水道局の方針や取組み・課題等の情報を多様な手法でわかりやすく積極的に発信します。	【取組内容】 〈平成25~28年度〉 〇お客さまとの対話を通した情報提供 水の大切さ、水道水の安全性やおいしさを知っても。 学校向けの出前講座「水道ボーイフクちゃんのこども、成28年度までの4年間で合計約7,700人の児童(小なお、「水道カルチャークラブ」については、PR効果中止しましたが、得られたノウハウを他事業に活かし、〇水道事業の財政状況についての情報発信 誰にでも分かりやすい情報の発信を目指し、財政状ついて、水道局ホームページにて公表しました。 〈平成25年度・27年度〉 〇お客さまニーズの把握 多様化するお客さまのニーズを把握し、サービスの「するお客さまアンケート」を平成25年度及び平成27年見を各事業のほか、平成29年2月策定の「福岡市水道【取組の成果】 〇水道行政に関するお客さま満足度について、「満足度)連続で8割を超えました。	水道教室」を3 学4年生)が や参加者の減 ました。 況の経年比 前上や実施し 度長期ビジョン	平成25年度よ 受講しました。 成少などにより 変および他都可 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	り市内小学校 、平成26年度 市との財政 ・おいて福岡では、 ・ドラップでは、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	で実施し、平まり実施を記の比較にの水道に関られたご意。
				実施スケジュール			28年度予定	28年度実績
				水道カルチャークラブの実施			実施	H26より中止
				こども水道教室の実施			実施	実施
				財政情報の経年比較の公表			実施	実施
				財政情報の他事業体との比較の公表			実施	実施
				「水道水に関する意識調査」の実施			-	H28は対象外
				指標項目	現状値 (23nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	28年度実績値
				お客さま満足度	83.7%	84%	85%	81.9%

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	4年間の	実施状況			
1	$\Theta$	交通局	情報提供の強化等によるお客様満足度の向上  交通局では平成21年2月に策定した福岡市地下鉄中期経営指針において、「お客様満足度8.0以上を目指す」ことを目標の1つとして掲げています。これまでも、「お客様の声」や「地下鉄モニター制度」を活用し、頂いたご意見を施策に反映させてきたほか、ホームページの充実などお客様への積極的な情報発信に取り組み、お客様満足度の向上を図ってきました。 今後とも、安全・安心を最優先に、快適・便利な地下鉄を目指し、ホームページの改修や地下鉄駅の列車案内システムのリニューアルによるお客様への情報提供の強化に努めるほか、広聴業務の充実・強化を図るなど、お客様の立場に立った利便性向上に取り組み、お客様満足度の向上を目指します。	【取組内容】 〈平成25~28年度〉 ○交通局ホームページについて、平成25年度からスで 声を改善に生かした事例の紹介を行うなど、情報提供 ○車いす・ベビーカー等をご利用のお客様の利便性に 先表示を行ったほか、ダイヤ改正や臨時列車の運行 ○「お客様の声」や「地下鉄モニター制度」等の広聴す 有し、お客様のご意見を反映した施策作りに努めてい 〈平成27~28年度〉 ○平成27年度から天神駅及び天神南駅における乗抄表示するモニターの設置、列車のリアルタイムの運した。 ○平成27年度から毎年7月15日号に、タブロイド紙「地で、地下鉄の取組みを広く紹介することとしました。 【取組の成果】 ○「お客様満足度調査」は2~3年おきの頻度で実施 0.4ポイント向上)となりました。	もの強化に取らうとのため、3等を行うなど、4等によっています。  科利便性の向。情報をより分 也下鉄だより」	組みました。 呼成25年度か 利便性の向。 いただいたご意 上を図るため かりやすく発 を市政だより	ら車両優先ス 上に努めまし 見を「交通局 の時刻案内や 信するための?	ペースに優た。 活識」等で共 過議」等で共 運行情報を 運輸指令員
				実施スケジュール			28年度予定	28年度実績
				「お客様満足度調査」の実施			実施	未実施
				お客様満足度向上の取組の実施			実施	実施
				指標項目	現状値 (23nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	28年度実績値
				「お客様満足度調査」によるお客様満足度(ポイント ※10点満点)	7.3	8.0	8.0	-

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	4年間の3	実施状況			
1	•	教育委員会	りを慎極的に進めるとともに、子校・家庭・地域で共働し、子どもを育てる「共育」の場づくりを推進します。	【取組内容】 〈平成25~28年度〉 〇学校公開週間の推進 全市一斉の学校公開週間(11/1~11/7)を設定し、 り組みを実施しました。 学校公開週間における各学校・園の公開内容を一動情報プラザ等、各区窓口にも一覧を設置し、市政だよ各学校・園では、来校者に対してアンケートを実施し活用しました。 〇学校評価の推進及び公表の促進 各学校・園における教育活動や学校運営の組織的・に基づき、自己評価及び学校関係者評価を実施してもし、具体的取組の進め方や解決すべき課題等を示すす。また、学校評価の公表を促進することで、保護者ができまた。 【取組の成果】 〇学校公開週間における学校来校者数が平成23年度ました。 〇学校評価をホームページで公表している学校数があました。	にまとめ教うりでも広報を、アンケートに 継続的な改者をました。27年 ことで、より実 こと地域の方々 まの133,344人	育委員会ホー 行いました。 こよって得られ きを図るために 2月には改訂 効性の高い等 と共通理解を	ムページに掲 た意見などを こ、「学校評価 「版のガイドブ 校評価を実施 ・深め、連携し 手度は199,299	載したほか、 学校運営に ガイドブック」 ックを策定 施していま で教育活動
				実施スケジュール			28年度予定	28年度実績
			※指標「学校評価(学校関係者評価)をホー	学校公開週間の推進			実施	実施
			ムページで公表している学校数(校)」につい	学校評価の推進及び公表の促進			実施	実施
			ては、小学校数が145→143となったため、最 終目標値を233→231へ変更。	指標項目	現状値 (23nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	28年度実績値
			2320	学校公開週間の来校者総数(人)	133,344	140,000	144,000	199,295
				学校評価(学校関係者評価)をホームページで公表している学校数(校)	49	141	231	223

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	4年間の	実施状況			
1	1		市職員の採用に関する情報の提供 市ホームページの職員募集に、市職員の採用に関する情報をわかりやすく提供するとともに、学校関係者等に対して市職員の採用に関する情報をメールマガジンで配信し、受験者の確保に努めます。	努めました。 ・ホームページQ&Aについては、閲覧者がより詳細されていては、閲覧者がより詳細されてなど実態に合わせて内容の更新に努めました。・メールマガジンの配信、24時間テレホンサービス、ボロタ種案内・募集パンフレット等を各種施設(900施設以上)に配・市政だより、公報、新聞等へ掲載を行い情報発信していました。 「政組の成果」	)IT等の活用 ホームページ情報の修正・追加等の更新を随時行い、適時、最新の情報及び 別のました。 ホームページQ&Aについては、閲覧者がより詳細を求めるであろう質問を想 のせなど実態に合わせて内容の更新に努めました。 メールマガジンの配信、24時間テレホンサービス、求人サイトへの掲載等を行 )各種案内 募集パンフレット等を各種施設(900施設以上)に配付・設置のうえ周知を図り 市政だより、公報、新聞等へ掲載を行い情報発信しました。 )説明会 大学、高校等での説明会等を実施しました。 取組の成果】 )平成28年度において、「ホームページ閲覧者へのアンケート調査満足度」は			
				実施スケジュール			28年度予定	28年度実績
				ホームページ閲覧者へアンケート調査			実施	実施
				わかりやすいホームページの作成			実施	実施
				メールマガジンの配信			実施	実施
				指標項目	現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	28年度実績値
				ホームページ閲覧者へのアンケート調査満足度		50%	70%	82.1%
				メールマガジンの配信件数(件)	_	50	100	82

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	4年間の	実施状況			
1			ムペーンを通して、監査結果や指摘等に対する定止・ 改善の状況並びに決算審査意見書などの監査情報	【取組内容】 〈平成25~28年度〉 〇ホームページを通して、監査情報の市民への分かり・監査の結果や指摘等に対する是正・改善の状況、決かに更新するとともに、スマートフォンでも見やすいよ書概要版を新たに掲載するなど掲載内容の充実を行 【取組の成果】 〇平成24年度に7,103件であった「ホームページのアクした。	学事査意見: うにするなど! いました。	いなどの監査 レイアウトの変	情報について 更や、外部監	、随時速や 査結果報告
				実施スケジュール			28年度予定	28年度実績
				ホームページのレイアウト変更			実施	実施
				ホームページの掲載内容の充実			実施	実施
				指標項目	現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	28年度実績値
				ホームページのアクセス件数(件)	7,103	8,700	9,200	7,265

## [推進項目② 行政手続きの利便性向上]

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	4年間の	実施状況			
1	2		みんなが使いやすいホームページの作成 高齢者や障がいのある人も含め、誰に対しても情報 がきちんと伝わったり、サービスを利用できたりするた めの取組み(アクセシビリティの向上に向けた取組 み)を行います。	【取組内容】 <平成25~28年度> ○ホームページのアクセシビリティ向上に向けて、マニュアルの充実化や職員研修などにより、既存のペジや新規公開するページの改善に取り組みました。 ○誰もが知りたい情報を探しやすく利用しやすいホームページにするために、平成27年度からページデナインの見直しに着手し、平成29年1月にホームページをリニューアルしました。 【取組の成果】 ○ウェブアクセシビリティにかかるJISの基準(障がいのある人や高齢者だけでなく誰もがホームページを用できるようにする基準)のうち、公的機関が求められるAAのレベルを達成しました。				
'	<b>L</b>	中区主		実施スケジュール			28年度予定	28年度実績
				福岡市ホームページ基本方針の改定			運用	運用
				アクセシビリティの向上に向けた取組み			実施	実施
				指標項目	現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	28年度実績値
				福岡市ホームページ基本方針の改定(25年度予定) により、設定した達成基準	_	_	AA	AA

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	4年間の	実施状況			
1			ICT(情報通信技術)の活用による行政サービスへのアクセス向上  市民サービスの向上のため、効果があると判断される手続については、積極的にオンライン化を進めていきます。 また、オンライン手続の認知率は27.7%(平成24年度市政アンケート)となっており、今後とも周知広報に努め、総件数に占めるオンライン件数の割合を高めていきます。	マナイスノレイ装置がで、電子子続のFRを打いました。 〇市民サービス向上のため、積極的に手続きのオンライン化を進めました。				
				実施スケジュール		28年度予定	28年度実績	
				「行政手続のオンライン化指針」「電子収納導入指針」の活用に	よる、手続オンライン化の促進	実施	実施	
				オンライン手続に係る周知広報		実施	実施	
				指標項目	現状値 中間目標値 (23nd) (26nd)	最終目標値 (28nd)	28年度実績値	
				総件数に占めるオンライン件数の割合	65.9% 68%	70%	63.0%	

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	4年間の	実施状況		
			証明書交付業務の改善による市民サービスの向上 上 ****	【取組内容】 〈平成25~28年度〉 〇行政手続における添付書類削減の取り組み状況に る事業の現状把握を行うとともに、各事業所管課に税	情報の内部照会による添		
			類の削減を図ります。  ・所得証明の添付に替え、本人からの同意を基にした	が手続きについて周知・説明を行い、照会実施事業の拡大に努めました。 取組の成果】 D市税に関する証明等の添付が不要となる手続きが、平成23年度の75件から平成28年度 B以上に拡大し、市民サービスの向上や窓口混雑の改善などの効果がありました。		平成28年度に <b> </b>	
1	2	財政局	税務部門から事業所管課への課税情報の提供の実  施を検討します。	実施スケジュール	7	28年度予定	28年度実績
			・「市税に滞納がないことの証明」の添付に替え、本 人からの同意を基にした事業所管課からの税務部門	証明書を必要としている事業数を各局へ照会・現状把		実施	実施
			への納税情報の内部照会の実施を検討します。	全事業のうち、内部照会が可能な事業を行っている部署へ	へ内部照会等の実施を提案	提案・実施	提案·実施
				内部照会等の新規受付開始		実施	実施
				指標項目	現状値 中間目標値 (23nd) (26nd)	最終目標値 (28nd)	28年度実績値
				内部照会方式等による照会実施事業件数(件)	75 110	135	162

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	4年間の	実施状況			
				【取組内容】 〇東区、博多区、南区の市民課及び保険年金課の2課間のシステムとして本格運用を行いましたが、課題が多かったことから7区展開は見直しました。				
1	2	市民局		【取組の成果】 〇全区での導入には至りませんでしたが、今後は、技 スのさらなる向上について、検討を進めてまいります。		JUICTの活用	を図りながら	、窓口サービ
				実施スケジュール			28年度予定	28年度実績
				区役所窓口支援システムの導入			実施 (全区導入)	見直し
				指標項目	現状値 (24nd)	中間目標値 (25nd)	最終目標値 (26nd)	28年度実績値
				区役所導入数(区)	1	3	7	3

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	4年間の	実施状況			
1	2		現在、7区役所の市民課で行っている住民票の写し等の郵送請求及びその手続きに関する問い合わせ等に係る事務を、"郵送請求事務世界」である。	【取組内容】 〈平成25~28年度〉 〇平成26年1月から各区市民課から「住民票等郵送記 送請求対応と付随する電話問合せ対応業務を民間へ 【取組の成果】 〇これまで、複数区にまたがる請求は各区で対応して対応できるようになりました。	、委託していま	<b>きす。</b>		
				実施スケジュール			28年度予定	28年度実績
				郵送請求事務センターでの事務取り扱い開始			実施	実施
				指標項目	現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	28年度実績値
				請求を受けてから発送するまでの日数(日)	2	1	1	2

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	4年間の	実施状況			
1		市民局	コンビニエンスストアでの証明書自動交付の推進 区役所まで出向くことなく、より身近なコンビニエンスストアで、住民票の写し等の各種証明を自動交付するサービスを、平成24年8月より開始しました。このサービスを推進するためにコンビニでの証明書交付手数料を窓口より恒常的に50円安く設定しており、より一層の利用者増を図るため、周知・広報を推進します。	【取組内容】 <平成25~28年度> ○平成24年当初は利用できる店舗はセブン-イレブンのみでしたが、ローソン、ファミリーマーサンクス、ミニストップにまで利用できる店舗を拡大しました。 ○平成26年度に東区役所内に、平成28年度には千早証明サービスコーナーに、コンビニ交明書を取得できるローソンのマルチコピー機を導入しました。また、体験型デモ機を各区役所千早証明サービスコーナーに設置し、来庁者にコンビニ交付を身近に体感できるようにしまし〇平成28年1月からは、個人番号カードの交付が始まり、個人番号カードのPRと併せて、市シ等を使い、コンビニ交付の更なる普及促進に努めました。 ○平成28年11月からは、福岡市外に住民登録があり、本籍が福岡市の方についても、戸籍きるサービスを始めました。 【取組の成果】				と同様に証 出張所及び こ。 だよりやチラ
				実施スケジュール		:	28年度予定	28年度実績
				コンビニ交付事業に関する広報の充実			実施	実施
				指標項目		間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	28年度実績値
				全ての有料証明発行数に占めるコンビニ交付発行証明の割合	0.5%	2.7%	6.1%	2.8%

取組番号	推進 項目	局区名	取組内容	4年間の9	<b>尾施状況</b>			
1	2	住宅都市局	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	〈平成25~28年度〉 〇市営住宅の入居者募集については、窓口や郵送では、周知に努めました。 〈平成26~28年度〉 〇市立霊園の利用者募集については、平成26年度か添付も不要としました。 【取組の成果】 〇平成24年度から電子申請による市営住宅への申込式)の申込者のうち約25%が利用しています。 〇指揮百日と、ている「市立雲園利田老募集」ウェブサ	ら、電子申請	がによる申込受 て周知に努め	が付を開始し、 た結果、定期	住民票等の 募集(抽選方
				実施スケジュール			28年度予定	28年度実績
				「市立霊園利用者募集」ウェブサイトの充実			実施	実施
				市営住宅入居者募集時の電子申請受付			実施	実施
				指標項目	現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	28年度実績値
				「市立霊園利用者募集」ウェブサイトのアクセス件数(件)	471	700	1000	4543

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	4年間の実施状況		
щ	7		駐輪場におけるICカード精算の導入	【取組内容】 〈平成25~28年度〉 〇ICカードによる清算が可能な機器を延べ17,972台導入しました。		
1	2	道路下水道局	都心部の駐輪場を中心に、ICカードによる精算が可能な機器を順次導入することで、支払い手続きの簡素化による駐輪場の利便性の向上を図ります。	<ul> <li>・清流公園駐輪場</li> <li>・中島公園駐輪場</li> <li>・神島公園駐輪場</li> <li>・大橋駅東駐輪場</li> <li>・吉人駅駅駐輪場</li> <li>・百々取取駐輪場</li> <li>・西藤田町駅駐輪場</li> <li>・古人中の名田町駅上輪場</li> <li>・古人中の名田町駅上輪場</li> <li>・古人中の名田町駅上輪場</li> <li>・右口のおりの有料車輪場</li> <li>・カ大学研都市駅東駐輪場</li> <li>・古人大学研都市駅東駐輪場</li> <li>・右に、中が、中域の園目へのは、中域の関目をは、対域の関目をは、中域の関目をは、中域の関目をは、中域の関目をは、中域の関目をは、中域の関目をは、中域のは、中域の関目をは、対域のは、中域のは、中域のは、中域のは、中域のは、中域のは、中域のは、中域のは、中</li></ul>	1, 2,	352台 77台台699台271台台271台台271台台699台271台台262台台593台551台台577台538台651台66台972台
				実施スケジュール	28年度予定	28年度実績
				駐輪場へのICカード精算の導入	実施	実施

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	4年間の	実施状況			
1	2	東区	窓口の待ち時間短縮に向けた取組  「取組内容」 《平成25年度》 〇平成25年度) 「中民課においては、恒常的な窓口混雑を緩和するため、等合スペースの拡充、窓口増設等のアレイアウト改修を行い、平成26年1月にリニュアルオープンしました。 「中成25~28年度) 「本規範を図ります。また、保険年金課等においても、BPR(業務プロセス改革)推進により、待ち時間の短縮を図ります。 「お、保険年金課等においても、BPR(業務プロセス改革)推進により、待ち時間の短縮を図ります。 「でするようにし、効率的なフロア運営と来庁者へのサービス向上を図りました。 「中に反映できるようにし、効率的なフロア運営と来庁者へのサービス向上を図りました。 「中成28年度》 〇平成28年度》 〇平成28年度 〇平成28年度 「中に開設した「証明サービスコーナー」の広報を行い周知に努め、第を図りました。 「取組の成果」 〇平成25年度のフロアレイアウト改修及び繁忙期の臨時窓口・記載台の設置等により、待ち向にあります。平成28年度は、マイナンバーカード受付・交付による業務量の増加があったも証明サービスコーナー」の広報を行い、窓口の分散化を図った結果、目標値を達成しました。					
				実施スケジュール			28年度予定	28年度実績
				市民課窓口の増設(2窓口)			実施	実施
				各窓口の待ち時間短縮			検証・改善	検証・改善
				指標項目	現状値 (23nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	28年度実績値
				【証明】 繁忙時における来庁者の受付待 30分以内で対応	12%	50%	50%	62%
				ち時間の割合 【異動】 60分以内で対応	22%	80%	80%	99%

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	4年間の3	実施状況			4年間の実施状況				
			特定健診及び各種がん検診における多様な予約 システムの構築	【取組内容】 〈平成25年度〉 〇全市的な予約システムの検討がなされました。								
			現在、博多保健所で実施している特定健診及び各種がん検診は、健康課への直接電話予約を原則としています。 市民の多様な生活スタイルに対応するため、直接電話以外の、時間外でも予約可能なシステムを構築し、特定健診及び各種がん検診の予約に関する利便	とし   < 平成26年度 >								
1	2	博多区	性の向上を図ります。	「一」としています。								
				実施スケジュール			28年度予定	28年度実績				
				電話外予約システム			実施	統合				
				指標項目	現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	28年度実績値				
				年間電話外予約延べ件数(件)	_	100	300	_				

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	4年間の	4年間の実施状況			
1		博多区	区役所内環境の見直し  ①区役所フロアのレイアウトの見直し案の策定(ローカウンター化などを含む) ②案内掲示物のデザイン統一化	【取組内容】 ○市民サービスの向上、待ち時間の短縮等を目的に、以下の見直しを実施しました。 ・市民課窓口の増設(平成26年度) ・市民課、保険年金課などの窓口に鞄かけを設置(平成27年度) ○以下の案内サインを改善しました。 ・保健福祉センター内の庁舎案内板(受付窓口のご案内、全館ご案内)の更新設置(平成25年度) ・博多区役所総合案内板(各階のご案内)の更新設置(平成26年度) 【取組の成果】 ○窓口アンケート調査において、区役所環境に対する市民の満足度(満足あるいはやや満足と回答)が年々上昇しました。				
				実施スケジュール		28年度予定	28年度実績	
				1階フロアのレイアウトの見直し案の策定		実施	実施	
				掲示物のデザイン統一		実施	実施	
				指標項目	現状値 中間目標値 (23nd) (26nd)	最終目標値 (28nd)	28年度実績値	
				区役所内環境に対する市民の満足度	61.8% 70%	80%	80.3%	

取組 番号	推進項目	局区名	取組内容	4年間の	実施状況			
番号		中央区	窓口サービスの上委員会(窓口サービスの利便性向上) 窓口サービスの利便性向上を図るため、「窓口サービス向上委員会」を立ち上げ、繁忙期の複数課にまたがる手続きについて、来庁者にスムーズに手続きを行ってもらえるよう組織横断的な連携強化を図ります。 また、研修や業務パンフレットの作成等、窓口サービスの情報を職員間で共有する取組みを進めるとともに、来庁者が待ち時間を有効活用できる仕組みづくりに取り組みます。	【取組内容】 窓口サービスの利便性向上を図るため、以下のとお の 来庁者アンケートの実施(平成26・28年度) 来庁者に対して、窓口で感じたことや改善すべき点ができませた。その結果に基づき、プライオの満足度が向上するよう努めました。 〈来庁者アンケートの実施状況〉 平成26年度:平成26年8月4日及び7日 平成28年度:平成29年1月16日及び19日 の 各課の業務一覧の作成(平成25~28年度)	らり取り組みま をお尋ねするで バシー保護の は27~28年度) とすする事 とすする職員 16日 29年2月22日	アンケート調う強化、待合スの強化、符合スの強化、存合スのでである。	スペースの拡き への案内に利。 受所を利用で 置しました。	たなど、来庁 用できるよう きるよう、介
				実施スケジュール			28年度予定	28年度実績
				繁忙期の組織横断的な連携強化 実施				
				窓口案内機能の強化 実施 実施				
				待ち時間の有効活用の仕組みづくり			実施	実施
				指標項目	現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	28年度実績値
				窓ロサービスに対する満足度	_	60%	80%	94.5%

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	4年間の実施状況				
1		中央区	庁舎環境改善委員会(区民に分かりやすい庁舎環境の整備)  区民に分かりやすい庁舎環境の整備をおこなうため、「庁舎環境改善委員会」を立ち上げ、区役所入口への案内掲示板等の設置や、掲示物・誘導表示のルールづくり等、快適で分かりやすいフロア空間づくりを推進します。また、特に区民の利用が多い1階フロアについて、利用者の立場に立ったフロア配置の最適化について検討を行います。	○中央区役所の庁舎環境改善のため、以下の取組みを推進しました。 ①市民目線に立ったよりわかりやすい庁舎案内表示(平成25~26年度) ②1階及び3階のフロア配置最適化(平成25~28年度) ③庁舎内の掲示物の整理(平成26~28年度) ④庁舎内空調の効果的・効率的な運転(平成26~27年度) ⑤正面玄関前の空間利用(平成27~28年度) 【取組の成果】 ○これらの取組みの結果、平成28年度に実施した庁舎環境に関する満足度では86%と最終目標を大きく上回って達成することができました。				
				実施スケジュール			28年度予定	28年度実績
				快適で分かりやすいフロア空間づくり			実施	実施
				1階フロア配置の最適化検討			実施	実施
				指標項目	現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	28年度実績値
				庁舎環境に対する満足度	_	60%	80%	86%

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	4年間の実施状況				
1		交通局	きの利便性向上 地下鉄ICカード「はやかけん」については、全国の主要な交通機関において乗車券として利用することができる利便性に加え、本市施設(区役所・博物館等)における電子マネー決済など行政手続きにおける利便性を有するため、普及世帯に取り組み、お客様の利便性の上を図ります。	【取組内容】 〈平成25~28年度〉 〇「はやかけん」は、約96万枚(H29.3)発行しており、今後も利用者の利便性向上のために、本市施設における電子マネー決済が可能な箇所を順次拡大しています。 【取組の成果】 〇電子マネー利用件数は、平成26年度末時点ですでに最終目標値(28nd)を大きく上回る結果となっており、本市施設(区役所・駐輪場・博物館・渡船場等)においても、電子マネー決済による行政手続きが可能な施設は、平成22年5月のサービス開始時の47施設から112施設(H29.3)となり、着実にお客様の利便性向上を図っています。				
				実施スケジュール		28年度予定	28年度実績	
				「はやかけん」を利用できる本市施設の拡大		実施	実施	
				「はやかけん」の広報・PR等		実施	実施	
				指標項目	現状値 中間目 (24nd) (26		28年度実績値	
				本市施設における電子マネ―利用件数(年間)(件)	35,450 42,0	50,000	285,051	

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	4年間の	実施状況			
			市職員採用試験申込みについて、インターネット(電子申請)による申込みを推奨し、郵送による申込書をインターネットからダウンロードを可能にすることで、	【取組内容】 〈平成25~28年度〉 ○電子申請システムの安定稼働に努め、エラーによる ○郵送用申請書のダウンロードを提供しました。  【取組の成果】 ○「受験申込み全体に占めるインターネット(電子申請 ウンロード申込書の割合」は61.4%に達し、ともに最終	制)申込みの害	引合」は76.7%、	「郵送申込み	に占めるダ
	<b>(2</b> )	人事委員会		実施スケジュール		28年度予定	28年度実績	
'	2	人争安貝云		インターネット申込みの推奨			実施	実施
				申込書のダウンロード化			実施	実施
				指標項目	現状値 (23nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	28年度実績値
				受験申込み全体に占めるインターネット(電子申請)申込みの割合	48.9%	55%	60%	76.7%
				指標項目	現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	28年度実績値
				郵送申込みに占めるダウンロード申込書の割合	-	20%	30%	61.4%

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	4年間の3	実施状況			
1	2	農業委員会	ホームページにて「農業委員会の概要」をはじめ、 「農地の売買・貸借」「農地の転用」「各種証明」「農業 者年金」等にかかる諸手続きの流れ、標準処理期間	【取組内容】 〈平成25~28年度〉 ○各制度のしくみや手続きの流れについてわかりやするよう掲載することで、手続きの円滑化を図りました。供を行いました。 【取組の成果】 ○電話での問い合わせや窓口での手続きにおいて、2	制度改正やお	3知らせなども	随時更新し、	広く情報提
			張所のどちらでも受付け出来る体制を整え申請者の 負担軽減を図ります。	実施スケジュール			28年度予定	28年度実績
			2017 TEMPO E 2017 0	情報の点検・更新			実施	実施
				指標項目	現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	28年度実績値
				情報の更新累積回数(回)	30	90	150	168

## [推進項目③ 市民との共働]

取組 番号	推進項目	局区名	取組内容	4年間の	実施状況			
1	3	財政局	施設利用者の満足度向上  多くの市民が利用する施設をより良くするため、従来型の市民アンケートの手法に加え、行政のプロである多様な分野の市職員の知識・経験を活かし、集客など、様々な視点から、より満足度の高い施設整備、運営を図ります。 また、市職員が縦割りの壁を超えて同じ施設の評価を行うことで、担当業務に関わらず、市民の満足度喰にずます。 ・利用開始後振返り評価市有施設を建設する際には、ワークショップ等により利用者からの意見の収集、反映に努めているものの、実際に利用開始した後に、建設時には気づかなかった利用者の視点からの課題が明らかとなることがあります。 そこで、利用開始後の施設について、利用者アンケートのほか、市職員による評価を行い、その結果を事例集等としてまとめ、今後の設計の際に参考とする	【取組内容】 〈平成25~28年度〉 ○利用開始後振返り評価 建て替えを実施した公民館・老人いこいの家12施設にし、その結果を事例集としてまとめ、改善点等の把握さります。 ○市役所本庁舎等の利用者満足度の向上毎年度、来庁者の方を対象としたアンケート調査を実障者用トイレ案内板及び使用方法の注意書きの設置等を行いました。 【取組の成果】 ○利用開始後振返り評価施設設計時にこの事例集を参考とすることで、新しくがす。 ○市役所本庁舎等の利用者満足度の向上平成28年度の市役所本庁舎等の利用者満足度の向上平成28年度の市役所本庁舎等の利用者満足度アング用者から「満足した」との回答がありました。	を行いました。 施し、その意 等)や設備の 施設を設計する	・施設設計にも見等を踏まえ、改善(1階トイ	るたっては、こ て庁舎内の案 レ洗面台水洗 繋げることが・	の事例集を 内表示(身 の自動化) できていま
			ことで、施設設計を利用者の視点から改善していきます。	実施スケジュール			28年度予定	28年度実績
			・市役所本庁舎等の評価   市施設の中でも、財政局が所管する市役所本庁	利用開始後振返り評価			本格実施	本格実施
			舎、北別館、西側広場等は、市民が頻繁に利用する 施設であることから、特に利用者満足度の向上を	市役所本庁舎等の評価			本格実施	本格実施
			図っていくべき施設であると考えられます。 そこで、これらの施設について、利用者アンケートの	指標項目	現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	28年度実績値
			ほか、市職員による評価を行い、その結果を踏まえ、	利用者・市職員評価の実施回数(回/年)	0	6	12	12
			利用者満足度の向上を図ります。 	市役所本庁舎等の利用者満足度	_	78%	80%	82.0%

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	4年間の	実施状況		
1		市民局	地域コミュニティの基盤強化・活性化に向けた具体的方策等について、地域活動の関係者や有識者等と意見交換しながら検討し、取組を進めます。	【取組内容】 〈平成26年度〉 〇外部委員をもって構成する「地域のまち・絆づくり検りの推進と、それに向けた地域と行政の共働について〈平成27年度〉 ○検討委員会よりいただいた提言を踏まえ、「"ふくお標(ビジョン)づくりをモデル的に実施するなど、実施可の「共創による地域づくり推進協議会」を設置し、外部と福岡市がパートナーとして、企業や商店街、NPO、共創の地域づくりに向けた取組みを推進しました。〈平成28年度〉 〇地域活動の担い手づくりや地域の絆づくりを推進す共創補助金」として拡充しました。 【取組の成果】 〇「地域活動に参加したことがある市民の割合」は目化・活性化に向けた取組みを継続して進めています。	で検討を進めました。 か"地域の絆応援団」専 可能な事業等について を を は を は を は を は を は を は を は を な を を を を	業の創設や校区 手しました。 議を行いながら、 地域の未来を共 対する補助金を「	K・地区の目 、自治協議会 に創り出す 「自治協議会
				実施スケジュール		28年度予定	28年度実績
				地域コミュニティの基盤強化・活性化に向けた取組		実施	実施
				指標項目	現状値 中間目標 (22nd) (26nd)	値 最終目標値 (28nd)	28年度実績値
				地域活動に参加したことがある市民の割合	56.2% 62%	65%	54.5%

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	4年間の	実施状況			
1		市民局	共働事業提案制度の推進  多様な市民ニーズに対応したきめ細かい市民サービスを提供するため、NPOの柔軟で斬新な事業提案を募集し、採択された事業についてNPOと市が共働で事業に取り組む「共働事業提案制度」を実施します。さらに、共働をより一層促進するための啓発事業を実施します。	【取組内容】 〈平成25~28年度〉 〇NPO等からの事業提案を公募し、公開プレゼンテー〇共働事業の成果を広く発信するため、終了した事業事業にかかる「中間報告会(28年度より廃止)」を公開の市民やNPO、企業など多様な人々が出会い共働を〈平成26年度〉 〇これまで実施された共働事業についてフォローアッた。 〈平成27年度〉 〇さらなる制度推進のため、提案を行うNPO等に向けができる仕組みづくり等、制度の見直しを行いました。〇共働のポイントやエピソードを交えた「共働事例集」 【取組の成果】 〇目標に達しませんでしたが、「担当業務においてNF平成26年度は28.9%、平成28年度は32.6%へと上昇に	他の「最終報告」で開催し、併任の開催し、併任を行い、事業を行い、事業を行い、事業を作成しました。	示会(28年度よせて実施事業 せて実施事業 か、「共働カフ 業の成果や終 事業の充実や た。	り事業報告会 をの評価を行い エ」を開催しま そ了後の展開を 行政側で課題	ま)」や、継続 いました。 した。 と検証しまし を検証しまし
				実施スケジュール			28年度予定	28年度実績
				NPOからの提案募集・審査・実施事業評価			実施	実施
				共働への理解促進			実施	実施
				指標項目	現状値 (20~24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	28年度実績値
				共働事業提案制度による共働事業数   (新規採択数の累計件数) (件)	24	32	40	37
				指標項目	現状値 (22nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	28年度実績値
				担当業務においてNPOと共働したことがある市職員の割合	23.3%	36%	42%	32.6%

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	4年間の9	<b>実施状況</b>			
			市職員の共働への理解と意識の向上及び連携 強化	【取組内容】 〈平成25~27年度〉 〇地域コミュニティやNPO等との共働に関する理解を 長研修等を実施しました。	促進するため	か、全職員研修	多、新規採用耶	<b>職員研修、課</b>
			地域コミュニティやNPO等との共働に関する市職員の理解を促進するため、職員研修等を強化します。	に内容を変更しました。 〇課長研修については、共働による事業成果が効果はラムとするなど、NPOと行政の共働事例を主に伝える〇全職員研修については、27年度末での職員の受講 〈平成28年度〉 〇地域のまちづくりについて、企業やNPO、大学なども	解が深まる。 内に伝わるよ 内容に変更し 率が92.5%に 様々な主体を	はう、実際の現 う、事業報告 しました。 □達したため2	場を体験する 会への参加を 7年度で終了し	体験型研修 研修プログ しました。
1	3	市民局		る「共創」の取組みに関する内容を研修に追加しました。 <地域コミュニティとの共働に関する研修>・・・全職員研修、新規採用職員研修、課長研修 <npoとの共働に関する研修>・・・課長研修、一般職員研修、新規採用職員研修、新任公民館職員研修 【取組の成果】 〇全職員研修については、延べ10,258人の受講者となり、より多くの市職員の理解を促進することができました。</npoとの共働に関する研修>				
				実施スケジュール			28年度予定	28年度実績
				新規採用職員研修			実施	実施
				地域コミュニティに関する全職員研修			実施	未実施
				共働を理解する課長研修	=n 11. II.		実施	実施
				指標項目	現状値 (22nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	28年度実績値
				担当業務においてNPOと共働したことがある市職員の割合	23.3%	36%	42%	33.0%
				指標項目	現状値 (23nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	28年度実績値
				地域コミュニティに関する全職員研修を受講した職員の数(人)	3,823	6,800	9,800	10,258

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	4年間の	実施状況		
1		市民局	企業の地域活動の促進に向け、具体的方策を検討	【取組内容】 〈平成27~28年度〉 〇「地域のまち・絆づくり検討委員会」からの提言を踏新たな担い手として地域を応援するための「"ふくおか団への登録を呼びかけ、市ホームページで活動内容体)。 〇応援団の取組みの輪を広げ、共創の取組みを推進の事例発表を行うセミナーを、28年8月から3回開催し〇28年3月に"ふくおか"地域の絆応援団の活動をはり大や、企業間、企業と地域などの交流の促進に向けた議会を設立し、外部委員の意見を取り入れながら事業〇外部委員などによる選定委員会を開催し、地域の意対して、28年11月の"共創"自治協議会サミット内で感知組の成果】 〇「地域活動に参加したことがある市民の割合」は目に、企業等の地域活動への参加促進に向けた取組みて、企業等の地域活動への参加促進に向けた取組み	*"地域の絆応援団」事業の紹介を行いました(28: することを目的に、地域ました。 じめ、地域活動を応援すた意見交換の場として、" まを推進しました。 まちづくりに特に貢献して、 誘謝状を贈呈しました。 標に達しませんでしたが	を創設し、企業 主度末登録団体 活動を応援して る企業の取組み ふくおか"地域の いる38の企業や 、共創の地域づ	などへ応援 数:32団 いる企業等 いの普及・拡 の絆応援団評 つ商店街等に
				実施スケジュール		28年度予定	28年度実績
				企業の地域活動の促進に向けた取組		実施	実施
				指標項目	現状値 中間目標 (22nd) (26nd)	直 最終目標値 (28nd)	28年度実績値
				地域活動に参加したことがある市民の割合	56.2% 62%	65%	54.5%

取組 番号	推進項目	局区名	取組内容	4年間の	実施状況			
1		市民局	民二一人や地方公務員としての役割などを再認誠し、その経験・知識を業務に活かします。 具体的には、局職員に対して、局内各部が実施する市民を対象としたイベントや地域活動・社会貢献活動などに関する情報を収集・発信することで、局全体で参加しやすい風土を作るとともに、局内電子掲示板等で活動報告を行いながら、参加者の裾野を広げていきます。	【取組内容】 〈平成26~28年度〉 〇地域活動等参加促進プロジェクトで取り組みました ・各課が実施する対市民業務、地域活動や社会貢献 随時「ちい活通信」を発行し、職員の参加を呼びかけま ・電子掲示板を活用し、体験記やイベント紹介などの 用しました。(26年度~28年度) ・社会貢献活動の一環として、「★市民局ぴかぴか関 掃活動に取り組みました。(26年度、27年度) ・局内の書き損じ年賀ハガキを回収し、換金した後、 【取組の成果】 〇目標に達しませんでしたが、平成24年度に実績値5たことがある職員の割合(過去1年間)」は平成28年度活動に参加したことがある職員の割合(過去1年間)」	状活動についました。(26年)情報発信を3 ★   を立ち上 NPO活動支 33.7%であった EIには70.8%に	度〜28年度) テいました。2 : げ、天神地区 援基金に寄付 「他課が実施 こ、54.5%であっ	7年度はフェイ 【及び所管施記 「を行いました する対市民業	スブックも活 改周辺の清 。(27年度) 務に参加し
				実施スケジュール			28年度予定	28年度実績
				参加可能な対市民業務の情報収集・発信、職員の参加	JΠ		実施	実施
				社会貢献活動等の情報収集・発信、職員の参加			実施	実施
				活動結果の評価			実施	実施
				指標項目	現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	28年度実績値
				他課が実施する対市民業務に参加したことがある職員の割合(過去1年間)	53.7%	65%	75%	70.8%
				地域活動や社会貢献活動に参加したことがある職員の割合(過去1年間)	54.5%	65%	75%	65.5%

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	4年間の	実施状況			
			NPO・企業等との連携・共働による市民サービス 意識の向上 NPO・企業等との連携により市民サービス意識の 向上を図るため、各種研修及びNPOとのワークショッ プなどを行います。	<平成28年度>   ○職員の市民サービス意識の向上を図るため、NPO   子どもに関わるNPOの役割等について局内研修を実	が施しました。	る方を講師に	:招き、NPO <i>0</i>	)基礎知識や
4	3	こども未来		実施スケジュール	実施スケジュール			28年度実績
'	3	局		NPO・企業等との連携、共働			検討・実施	実施
				市民サービス意識の向上			実施	実施
				職員アンケート			実施	実施
				指標項目	現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	28年度実績値
				子育て環境満足度	60%	62%	65%	69%
				NPO・企業等との連携の重要性に対する職員の理解度(職員アンケート)	-	80%	100%	79%

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	4年間の3	実施状況			
1	3		これからの時代は、一方的に行政のみでサービスを行うのではなく、地域での支え合いなど市民同士やNPOが様々な場でサービスを行う必要があります。現在、市民が行政から情報を受け取る手法はある一方、市民同士で情報のやりとりができるような場が十分でないことから、保健福祉施策について気軽に	【取組内容】 〈平成26~28年度〉 ○保健福祉局フェイスブックページ運営事務局を立上成26年12月より保健福祉局フェイスブックページ「よかブックページでは、保健福祉局に関するあらゆる情報よう心掛けました。 【取組の成果】 ○フェイスブックページ「よかろーもんの部屋」への登録は年々増加しており(平成26年度末:391人登録→平局もんの部屋」を通じて様々な情報を発信していきたいと	NA-もんの音 について、「リ 碌人数は目標 或28年度末:6	『屋」の運用を アルタイム」に 『値には届きま	開始しました こ「分かりやす ごせんでしたか	。フェイス く」発信する
			制を整えます。	実施スケジュール			28年度予定	28年度実績
				SNSの活用(フェイスブック等を利用した専用ページの)	開設)		実施	実施
				指標項目	現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	28年度実績値
				SNS(ソーシャルネットワークサービス)登録人数(人)	_	500	1,500	685

取組番号	推進 項目	局区名	取組内容	4年間の	実施状況			
			地域における福祉活動への支援	【取組内容】 〈平成25~28年度〉 〇校区社会福祉協議会が行うふれあいネットワーク、ふれあいサロンに対して、市・区社会福通じて、活動費を助成しました。				
	1 3	促体行业已		【取組の成果】 〇ふれあいネットワークを実施している自治会・町内会の、1,671地区(平成25年度)から1,793地区(平成28年 〇ふれあいサロンの実施箇所数については、327カ所した。	F度)に増加し	<i>。</i> ました。		
'	3	保健福祉局	地域住民が主体的に取り組んでいる高齢者等に対する見守りなどの福祉活動(ふれあいネットワークや	実施スケジュール			28年度予定	28年度実績
			ふれあいサロン)を支援するとともに、地域住民の地域活動による悩みや相談など下支え可能な環境を推	51〜、地域住民の地 支え可能な環境を推 ふれあいネットワーク			検証•拡充	検証・拡充
				ふれあいサロン			検証・拡充	検証·拡充
				指標項目	現状値 (23nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	28年度実績値
				ふれあいネットワークを実施している自治会・町内会数(地区)	1,638	1,914	2,075	1,793
				ふれあいサロンの実施箇所数(カ所)	292	325	336	385

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	4年間の	実施状況			
			計画等策定時における対話手法(ワールドカフェ方式など)の導入	【取組内容】 〈平成25~28年度〉 〇行政計画などの策定の際に、ワールドカフェ方式な	ど、市民との	対話を重視し	た手法を導入	しました。
			行政計画などの策定の際に、従来の委員会形式に加え、市民との対話を重視した手法(ワールドカフェ方式など)の導入を検討します。 具体的な内容については、計画等の性格や策定時期などに応じて随時検討を行い、行政計画などの策	○「福岡市環境・エネルギ―戦略」(平成26年6月策定パブリック・コメント[H26.3.17~4.17]を実施したほか。 [H25.11.8開催(36名参加)、H25.12.7開催(31名参加) た。	、「エネルギー			
			定時における市民対話手法の活用を定着化します。 <環境基本計画> 本市総合計画の事例を参考としながら、素案作成 の段階で市民対話手法の活用を検討します。 <野鳥公園>	○「福岡市環境基本計画(第三次)」(平成26年9月策パブリック・コメント[H26.7.15~8.15]を実施したほか加)]、「ふくおか環境未来カフェ」[H26.7.17開催(58名いました。	、「ふくおか環			
			多様な主体が集う「野鳥公園ラウンジカフェ」を開催し、気軽に意見交換できる対話手法による合意形成を図ります。 また、整備後の管理・運営についても、従来の行政主導ではなく、NPOなどの市民活動やCSRなどの民	〇「アイランドシティはばたき公園基本計画(整備プラ: 平成25年度に「野鳥公園ラウンジカフェ」[全8回(+番ボードの作成等を通して多くの方と対話を行いました。	香外1回)開催		参加)]を開催し	ン、スト <b>ー</b> リー
1	3	環境局	間活力を取り入れ、共働する手法など斬新な公園管理運営の導入を検討し、将来的な管理費抑制を図ります。	〇「博多湾環境保全計画(第二次)」(平成28年9月策平成27・28年度に「トーク・カフェ」[H28.3.20開催(23:交換を行いました。		3.7.31開催(20	名参加)]を開	催し、意見
				〇「福岡市地球温暖化対策実行計画」(平成28年12月 パブリック・コメント[H28.10.6~11.4]の実施に加え、		いて情報提供	もに努めました	5₀
				【取組の成果】 〇行政計画などの策定時における市民対話手法の導 広く意見聴取を行いました。	【入率は、平成	뷫28年度の実	績は100%とな	り、市民から
				実施スケジュール			28年度予定	28年度実績
				計画等策定過程における市民対話手法の検討及び導			実施	実施
				指標項目	現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	28年度実績値
				行政計画などの策定時における対話手法の導入率	_	50%	100%	100%

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	4年間の	<b>実施状況</b>			
1	3	農林水産局	「自然共生型ため池」の整備にあたり、市民に親しまれる憩いの場となるようワークショップにより地域住民の意見やアイディアを引き出し整備計画に反映させ、整備後の管理についても、市民と共働して実施します。	【取組内容】 〈平成25~28年度〉 〇自然共生型ため池事業は、平成27年度に市内6億〇森と海の再生交流事業は、漁業者、林業関係者及年度のペ740名)が共働して、水域全体の環境保全や年度から平成28年度のベ4,000本、総面積1.1ha)を見て、取組の成果】 〇自然共生型ため池は、周辺の町内会、自治会等で等が行われており、平成28年度は251回の活動実	び市民ボランラ 相互交流を図 関施しました。 構成された「た	ティア団体等 ることを目的	(平成25年度 とした植林作 」により花壇の	から平成28 業(平成25
				自然共生型ため池整備事業			実施	実施
				森と海の再生交流事業			実施	実施
				指標項目	現状値 (23nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	28年度実績値
				市民による自然共生型ため池の清掃活動(回)	85	100	120	251

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	4年間の3	実施状況			
1	3	港湾空港局		〈平成25~28年度〉 〇干潟の生きもの観察会やバードウオッチングといった自然観察会、アオサ回収活動、アマモ場づくりを市民など多様な主体と共働で実施しました。 【取組の成果】 〇自然観察会(8回)、アオサ回収活動(19回)、アマモ場づくり(5回)を実施した結果、目標値を上回る2,682人の参加があり、市民など多様な主体との共働によるエコパークゾーンの環境保全活動を推進しました。 ・平成25年度 614人 ・平成26年度 668人(延べ1,282人) ・平成27年度 737人(延べ2,019人) ・平成28年度 663人(延べ2,682人)				上回る
				実施スケジュール		2	28年度予定	28年度実績
				市民共働による環境保全活動 実施 実施				
				指標項目		間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	28年度実績値
				市民共働による環境保全活動の累積参加者数(人)	約300 6	650	1,300	2,682

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	4年間の	実施状況			
1	3		「Webマップの活用」と「地域福祉ネットワークづくりモデル事業」の推進  校区ごとに紙で作成し地域に提供している安全安心マップについて、各校区との協議や地域の理解と協力のもと、各校区でWebマップ上のデータを活用し、それぞれで必要な独自のマップを作成し校区の安全・安心に活用する方向に段階的に進め、地域福祉ネットワークづくりモデル事業をさらに拡大し、推進します。  ① 現在の各校区の安全安心マップのデータを総務企画局主管のWebマップ上へ反映 ② Webマップ上の安全安心マップを各校区で最新版にメンテナンスしながら活用 ③ Webマップ上のデータを校区の必要性に合わせて、加工・充実し、用途に合わせて「要援護者支援マップ」、「避難経路マップ」など数種類を作成し活用	トース・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・				
				実施スケジュール			28年度予定	28年度実績
				Webマップ上の「安全安心マップ」データを地域で編集	利用する		拡大	一部実施
				Webマップ上の地図データを利用して校区独自でマップを	上作成できるシ	ステムを構築	拡大	一部実施
				地域において、「要援護者支援マップ」、「避難経路マップ」などを	作成してコミュニ	ティ活動に活用	拡大	検討
				指標項目	現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	28年度実績値
				Webマップの活用促進(安全安心マップの応用版まで作成・活用)(校区)	0 (H25システム完成)	10	25	0
				災害時要援護者避難支援計画策定地域の増加(自治会、町内会)	0	20 (覚書締結数)	50	21

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	4年間の	実施状況			
1	· 第 3	南区	まちづくりボランティアのNPO団体などと共働した 大橋エリアの活性化  市の南部広域拠点である大橋における地域・民間・ 行政が一体となった活性化を進めるため、大橋を中心に活動しているまちづくりボランティア団体(グリーンバード)の活動について、商店街、学生、コミュニティをはじめ、大橋に関係のある市職員(居住、乗り換え、南区役所勤務など)などにも参加を呼びかけ、地域の活性化に向けて人の輪、街づくり活動の幅の広がりを進めます。 また、この活動を通じて、職員が市民の目線でまちを見て、市民とともに考え、目標達成に向けて行動する人材(市民と共働する行政のプロフェッショナルへの成長)へと成長することにつなげていきます。	【取組内容】 〈平成25~28年度〉 〇NPO法人グリーンバード福岡・大橋が主体の定期活動で 〈平成26~28年度〉 〇地域の歴史や文化を活かしたウォークラリー「みなみくました。(平成27年度:大橋駅周辺エリア、平成28年度:長の大橋駅西口広場で開催しているイベント「楽しかおおは、※「みなみくまちむすびプロジェクト」とは、NPO法人グリーです。 〈平成28年度〉 〇平成28年度〉 〇平成28年度〉 〇平成28年9月から、「地域に根差し、地域に愛される区でに、地元の企業や大学、住民と連携して「大橋駅周辺ピカリリーン大橋駅周辺ピカリル域貢献活動に取り組んでおり、今後も継続して地域と共	さるく」を、みな住・西長住エリ・し」の会場で、キンパード大橋ランパード大橋ランカリーン大く	:みくまちむすびア) Fヤンドルナイト Fームと区役所 毎月第一金曜 作戦!」を実施 地元企業や大	プロジェクトとはを実施しました 職員が立ち上し 日に、南区役所しました。	共働で実施した。
				実施スケジュール			28年度予定	28年度実績
				まちづくりボランティア活動への市職員としての参加	(清掃・あいさ	つ運動)	検討·実施	検討·実施
				大学生、商店街、コミュニティへの参加働きかけと活性	化推進		検討·実施	検討・実施
				指標項目	現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	28年度実績値
				まちづくりボランティアへの市職員の 年間の参加延べ人数(人)	_	480	720	452
				同活動への参加総数	_	720	1,440	932

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	4年間の3	<b>実施状況</b>			
1	3	早良区	備を行います。 〇 災害時の要援護者対策や避難所の確保等、地域と行政の共働により防災の取組みを推進します。また、避難所になっている小学校までの案内表示を地域・関係機関との共働により整備していきます。 〇 道路施設等の不具合・異常箇所に関する区民(市民)からの情報提供について、区民(市民)生活の安全確保、事故防止の観点から、原則、当日に現場立会や確認を行い、1週間以内での完了を目指しま	○「まちづくり基本計画」を策定するためのワークショッ施しました。  H25年度・・・飯倉中央校区、小田部校区 H26年度・・・原北校区、室見校区 H27年度・・・入部校区、脇山校区 H28年度・・・有住校区、賀茂校区 ○前年度に策定した「まちづくり基本計画」に基づいて交差点カラー化等の交通安全施設整備を実施しました H25年度・・・飯倉中央校区、小田部校区 H26年度・・・飯倉中央校区、加田部校区 H27年度・・・原北校区、宮見校区 H28年度・・・入部校区、協自中央校区、原西校区 H26年度・・・・飯倉中央校区、加田部校区 H26年度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	、地域整備部 20 校 野室においる で 本見早 を は が見ります。 いて が見ります。 いて が見ります。 いて ができます。 いて ができます。 いて ができます。 いて ができます。 いて ができます。 いて ができます。 いて ができます。 いて ができます。 いて ができます。 いて いて でいて かいて かいて かいて かいて かいて かいて かいて かいて かいて か	製において、カ いて実施しまし で 区 校区、百道浜 なび「安全会が	ーブミラーや; た。 校区、田隈校 心マップ」の更 できました。	道路照明灯、
			す。(ただし、大規模工事は除きます。)	実施スケジュール			28年度予定	28年度実績
				ワークショップ(WS)の実施 まちづくり基本計画の策定			2校区 ※公募	2校区 実施
				交通安全施設の整備			2校区 ※前年度 WS実施校区	2校区 実施
				迅速な維持管理の対応			実施	実施
				指標項目	現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	28年度実績値
				地域の課題解決のための交通安全施設の整備を行った校区数(校区)	8	13	17	17

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	4年間の	実施状況			
1		西区	市民との共働による区及び校区危機管理体制の充実・強化  各校区と行政が連携し、地域住民の安全を確保するための取り組みを推進します。 西区ではすべての校区に自主防災組織が設置されていますが、組織強化を支援することにより、安全で安心なまちづくりを推進します。全校区で策定済の安全安心マップについては、平成24年度より防災情報をより充実させながら、順次改定を推進していきます。	○校区防災計画における住民の避難行動計画についても、今後、きめ細かい内容に変えていく必要がるものと考え、地域の特性を考慮しながら地域と一緒に校区防災計画を検証し、より実効性が高い校に災計画に改訂するよう、まずは、今宿・金武・福重の3校区をモデル的に支援しました。				ても支援を く必要があ 高い校区防 こ及び、自 のテストを
				実施スケジュール			28年度予定	28年度実績
				校区防災訓練の実施			実施	実施
				総合防災訓練 防災危険箇所点検の実施			実施	実施
				指標項目	現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	28年度実績値
				安全安心マップの改定校区数 (校区)(年度当初)	0	14	21	21

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	4年間の	実施状況			
1		西区	市民との共働による「西区の宝」磨き 西区全体を地域ごとの魅力(宝)を展示した「博物館」と位置づけ、区内の自然、歴史、文化、景観などの様々な有形・無形の地域資源や人的資源を区民が主体となって保存・育成・創出し、それらに回遊性を持たせることで区民自らの活用を促進するとともに、地域外にも魅力を発信していきます。	【取組内容】  〇市民ボランティア団体「西区まるごと博物館推進会」が中心となり、学生ボランティアをはじめとした各種関係団体との協働、また企業等の協賛により、歴史・自然・文化・活動団体など様々な「西区の宝」を活かた多彩な事業を開催し、西区の魅力を発信しました。 (平成25年度イベント開催件数) 18件 (平成26年度イベント開催件数) 19件 (平成27年度イベント開催件数) 21件 (平成28年度イベント開催件数) 21件 【取組の成果】 〇イベントの開催件数は目標値を達成し、西区を中心に多くの市民に「西区の宝」を体験していただく場を提供しました。				宝」を活かし
				実施スケジュール			28年度予定	28年度実績
				魅力発信事業の開催			企画·実施	企画·実施
				「西区の宝」の認定			認定・広報	認定•広報
				指標項目	現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	28年度実績値
				魅力発信事業の開催数(件)(年度末)	18	19	21	21

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	4年間の3	実施状況			
1		西区	市民との共働による環境啓発活動の推進 地域に潜在する意欲的な人材を発掘・育成する「人材育成講座」を核に、講座修了生たちへの自主的な活動への支援、活動の発表・評価の場となる「西区環境フェスタ」を毎年共働で開催し、「市民と西区共働で環境啓発活動を行えるまち」を目指します。 修了生たちによる環境活動団体の共同体となる「環境啓発活動を展開中。所属している各団体(修了違いを発活動を展開中。所属している各団体(修了生による9団体と連携企業等3団体)は、バラエティに富んだ楽しい環境講座を地域へ提供することで、市民の環境に関する意識の向上はもちろん、地域の活性化へつなげていきます。環境啓発活動というものは、継続こそが力となるものなので、活動継続のために、修了生たちのモチベーション、充実度を重要視し、事業を推進していきます。	【取組内容】 〈平成25~28年度〉 ○人材育成講座の開催 (平成25年度)平成25年10月~平成26年1月の間に7[(平成26年度)平成26年10月~平成27年1月の間に7[(平成27年度)平成27年10月~平成28年1月の間に6](平成28年度)平成28年10月~平成29年1月の間に6](平成28年度)平成28年10月~平成29年1月の間に6](平成28年度)平成28年3月出席し、活動の場の営の指導助言を行いました。 ○西区環境フェスタの開催「環境たくみの会」を中心に環境に関心がある団体及で(平成25年度)平成26年3月9日、さいとびあで開催。共(平成26年度)平成27年3月8日、西市民センター及び者数は延べ5,447名でした。(平成27年度)平成28年3月13日、さいとびあで開催。共た。(平成28年度)平成29年3月12日、西市民センター及び者数は延べ7,001名でした。 【取組の成果】 ○修了生等の充実度の向上(環境フェスタスタッフので28年度は73%に上昇しました。 ○市民の環境意識の向上(環境フェスタ来場者の実践2.09個から平成28年度は2.53個に上昇しました。	回開催し、17: 回開催し、17: 可開催し、14: が提供、補助が が作はな2 西では、 がはは22 はでは、 はでは、 はでは、 はでは、 はでは、 はでは、 はでは、	名名名 記し団場 の田 場のの 単、はまま 用 て者 は 場 催 来 開 にままま 用 てる お 場 で 開 いて は いて	した。 した。 などの情報提 います。 *数は延べ5,31 失催団体は22 者数は延べ5,5 共催団体は2	19名でした。 団体、来場 523名でし 3団体、来場 2%から平成
				実施スケジュール			28年度予定	28年度実績
				人材育成講座の開催			企画·実施	企画·実施
				環境活動団体への支援			実施	実施
				環境フェスタの開催				企画・実施・検証
				指標項目	現状値 (23nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	28年度実績値
				修了生等の充実度の向上(環境フェスタスタッフのやりがい度)	62%	65%	70%	73%
				市民の環境意識の向上(環境フェスタ来場者の実践したい環境行動の数)(個)	2.09	2.50	3.00	2.53

取組番号	推進項目	局区名	取組内容		4年間の	実施状況			
田勺			小中学校における教命講習 福岡市の小・中学生を対象とした救命講習を実施 し、受講者の裾野を拡げるとともに、教職員への応急 手当指導者講習を実施し、自学自習の救命教育を促 します。 講習終了後は修了証、認定証を交付するとともに、 アンケートを実施し講習会に反映させていきます。 (実施内容) ・小学5年生を対象とした救命入門コース (90分)を実 施	でして、平成26年度からは将来的に教職員が光量主張に教命講旨を実施できる体制 りくりに取り組みました。  【取組の成果】  ○累計79校(累計6,376名参加)の小学校及び累計55校(累計8,261名参加)の中学校に教命講習を実施し、教職員を対象とした教命講習の指導者資格取得研修により累計136名の指導者資格を認定しました。  ○指標項目については、学校側とのスケジュールや講習資機材等の調整が難しく、最終目標値には達しま					取り組みまし 講習を実施 定しました。
1	3	消防局	・中学2年生を対象とした普通救命コース(180分)を 実施 ・小中学校の教職員を対象とした応急手当指導者講 習の実施	〇指標項目については、学校側とのスクせんでしたが、平成29年度も引き続き、 を指導できる体制づくり(全市立小中学科	救命講習の指	導者資格を	収得した教職	員が小中学生	に救命講習
								28年度予定	28年度実績
				小中学校における救命講習				拡充	実施
				教職員を対象とした応急手当指導者講習	D =			実施	実施
				指標項目		現状値 (24nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	28年度実績値
				小中学校での救命講習(実施校数) ・平成25年度:各区1校(モデル校)	小学校	0	21	73	28
				・平成28年度:市内半数の小中学校での実 施を目標とする。	中学校	0	14	35	21
				指標項目 現状値 中間目標値 最終目標値 (28nd) <b>28年度実績値</b>					
				教職員を対象とした応急手当指導者講習の受講者(累計)(人) 0 100 200 136					

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	4年間の	実施状況			
1	3	消防局	市民との共働による災害に強い地域づくり 地域住民の方々が実施する防火・防災訓練等での 指導や、ホームページ・メディアなどを活用した減災 等の情報発信を強化し、安全で安心して暮らせる災 害に強い地域づくりに共働で取り組みます。	【取組内容】 〈平成25~28年度〉 〇各消防署及び防災センターが相互に協力し、区役下での自主防災組織等に対して講座、訓練等を実施の全校区での実施」(毎年度)については、25年度に整等の理由から目標値を達成できませんでしたが、3時期に実施することで、災害に強い地域づくりを推進し、様々な広報媒体を活用し、年間約30~50回の火災防災・救急ブック」や高齢者向けの啓発チラシの作成た。 【取組の成果】 〇平成23年度に88.6%であった「災害に強い地域づくりに上昇しました。(平成25年度は100%実施) 〇平成24年に337件であった年間の火災件数が、平原	してきました。 目標値(100% E施できなかっ してきました。 ・予防広報・啓 ・配布を行うな リ講座の全校	指標である「注 ら)を達成しました た校区・地区 発を実施する など、市民の関	災害に強い地 した。26年度以 については翌 らともに、「み 5火意識の向」 が、平成28年』	域づくり講座 以降は日程調 年度の早い んなの防火・ 上を図りまし
				実施スケジュール			28年度予定	28年度実績
				地域ニーズに応じた「災害に強い地域づくり講座」の実	施		実施	実施
				ホームページ・メディアなどを活用した情報発信の強化	3		実施	実施
				指標項目	現状値 (23nd)	中間目標値 (26nd)	最終目標値 (28nd)	28年度実績値
				災害に強い地域づくり講座の全校区での実施	88.6%	100%	100%	98%
				指標項目	現状値 (24年)	中間目標値 (26年)	最終目標値 (28年)	28年実績値
				火災件数(件)	337	320	300	283

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	4年間の3	<b>実施状況</b>		
1	3	水道局	水源林ボランティアとの共働  水源かん養林の保全活動に必要な知識・技術などを修得した水源林ボランティア(市民ボランティア)と 共働して、水源かん養林の保全活動を行うとともに、 市民に水源かん養林の大切さや水源地域への理解 を広めるため、本市が行う各種イベント時における広 報活動や市民が参加する水源かん養林保全活動の 体験事業の実施、さらに、地元の協力を得ながら、保 全活動において除伐した竹材を有効利用(竹炭製作等)する取り組みなどを行います。	【取組内容】 〈平成25~28年度〉 〇水道局と水源林ボランティアの共働により、水源かた大切さや水源地域への理解を広めるため、各種イベン民が参加できる水源林保全活動体験、除伐竹材の有 【取組の成果】 〇活動の実施回数について、平成25年度は51回、平は53回実施しました。 〇活動参加者延べ人数は、平成25年度は478人、平成1578人であり、いずれの年度も最終目標値である44	小時における広報活動、2 効利用などを実施しました 成26年度は56回、平成27 成26年度は600人、平成27	<b>水源地域との3</b> :。 年度は48回、 <sup>™</sup>	交流活動、市 平成28年度
				実施スケジュール		28年度予定	28年度実績
				水源林ボランティアとの共働による水源林保全活動・加	 云報活動	実施	実施
				指標項目	現状値 中間目標値 (24nd) (26nd)	最終目標値 (28nd)	28年度実績値
				水源かん養林保全活動等へのボランティア参加者延べ人数(人)	400 420	440	578

取組番号	推進項目	局区名	取組内容	4年間の3	<b>美施状況</b>			
1		教育委員会	学校の安全体制の整備  子ども達の登下校時の安全確保を図るため、学校と地域諸団体、関係機関との連携により、地域ぐるみで学校の安全を守る取り組みを行います。 【取り組み内容】 〇各学校におけるスクールガードの組織設立地域から学校安全ボランティア(スクールガード)を募り、登下校時などに子ども達の見守り活動を実施します。 〇スクールガード養成講習会の開催学校で巡回・警備等に従事するスクールガードを養成するための講習会を開催します。 〇スクールガード・リーダーによる学校巡回指導と評価及び防犯・安全教室の専門家をスクールガード・リーダー(地域学校安全指導員)として委嘱し、教職員やスクールガードの指導や専門的視点からの安全点検案を実施するために定期的に学校を巡回し、学校安全に関する指導と評価を行います。また、保護者や地域の方の参画、協働による取組として防犯・安全教室を実施します。	〇 防犯ブザー・防犯笛の携行やスクールガードの巡回	に、 学学校の 学学校の では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	回回 回回 要性 を を を を を を を を を を を を を	見守りを実施 と 実施 と 実施 と 実施 また ここと と 連筋 かいした 通い で の まに 安全 で の まに 安全 で の で の で の で の で の で の で の で の で の で	しました。 を協議しまともに、 ターム タース という はんから で で で で で で で で で で で で で で で で で で で
				実施スケジュール			28年度予定	28年度実績
				スクールガード・リーダーによる学校巡回と評価			実施	実施
				各学校における防犯・安全教室の実施			実施	実施
				中学校ブロックにおけるスクールガード連絡会の実施	<b>担</b> 化/店	中間目標値	実施	実施
				指標項目	現状値 (24nd) —	中间日標但 (26nd)	取終日標個 (28nd)	28年度実績値
				スクールガードの組織率(組織数/学校数)	82.5%	95%	100%	100.0%
				スクールガード養成講習会(年2回)の参加者数(人)	548	600	700	655